

11 報目の留学報告書です。そろそろ本当に書くことがなくなってきてしまいました。。。

1. 研究活動について

10 報目にて論文を投稿したと言っていましたが、ようやくアクセプトされました (<https://doi.org/10.1038/s41598-018-29768-x>)。一年ほど授業をとっていませんでしたが、とうとう最後の授業の単位を取得し、残りは研究だけという状態になりました。前回の報告書でも報告していたとおり、今春もVirtual Realityの授業のTAをしていました。この授業を教授が始めてから三回目になり、ようやく授業内容や宿題も安定し、昨年度に比べて随分とワークロードが少なく終えることができました。少しでも宿題の問題文やコードに間違いがあると、好成绩を修めたい学部生から文句が出るので、宿題をリリースしてから数日間は毎週緊張していました。夏クォーターに入り、なにからも邪魔されることがないので新しいプロジェクトも順調に進み始めています。

2. ちょっとしたアメリカ留学アドバイス

本当に書くことがなくなってきたので、（本や留学報告記のようなオフィシャルな文章には中々書いていないような）自分がしておけばよかったなと思うことや留学してから気付いたことを書いてみます。

まず、車を買う予定がなくても、留学後すぐに運転免許を取っておけば良かったなと本当に後悔しています。車の保険料はアメリカの運転免許を取得してからの年数によって決まるので、MITにいたときに車の免許をとっておくべきであったと思います。車を買ってから二年間は本当に保険料が高くて、かなり苦しめられました。。。ボストンに住んでいた当時、誰かに同じアドバイスをしてもらった気がしますが、日本であまり運転をしたことがなかったので、運転免許をとれる自信がなく、そのアドバイスを無視してしまった記憶があります。留学した当初はだいたい余裕が無いので、車が必要ない都市に住んでいたら取るという発想になりませんが、本当にとっておくことをおすすめします。

次に、研究以外に毎週やろうと思えばできる趣味を見つけておくの良いと思います（これは留学とは関係ないかもしれませんが、留学中に見つけることなのかもしれません）。大学院生活は長く辛いことも多いので、何か逃げる場所を作っておくことは大事です。それをしていれば他のすべてがどうでもよくなったり、毎週末それをすることが楽しみで仕方なくなるようなものが理想です。記憶が正しければ、財団の面接でこれは言われたことで、ウィンドサーフィンが趣味になった今すごく感じます（面接を受けた当時は留学を必死で目指していたので趣味がなく、研究が趣味みたいなものと答えた気がします苦笑）。昔は土日関係なくラボに行っていました、本当に効率が悪かったなと今は思います。平日に何か嫌なことがあっても、週末に趣味活動をして完全にリフレッシュして月曜日から頑張るという生活はすごく良いです。そういった生活ができるのも、大学院留学のメリットなのかなあという気もします。

最後に、日本に結婚できる相手がいるのなら留学前か留学中にした方が良いです。というよりも、留学準備として(?)積極的に恋人を作った方が良いです。日本に住んでいるときよりも、結婚する&恋人を作るのが何倍も難しくなると思っておきましょう。大学院留学前から付き合い合っていた人と結婚した日本人の友人が何人かいますが、総じて幸せそうですし研究も上手くいっているように見えます。留学中に恋人を作れない&結婚できないかもしれないという不安がないことや、なにかあっても励まして貰えることが日々の生活を楽にしているのだと思います。実際、きっとアメリカに残り続けるであろうと思っていた人も、結婚相手を探すために日本に移住したという人を何人も知っています。留学を目指している最中はまだまだ若いですし、こういった事実は無視しがちですが、知っておいた方が良い事実かなと今になって思います。

どれも留学の本質的な部分とはなにも関係がないですが、留学の先輩たちに言われたことで、思い返すと正しかったな思うことを書いてみました。さあ、次はなにを書こう。。。。